

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5009
-----------	-----------	------

事務事業名	百々生活排水処理施設管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道維持室	井上 康秀	63-7102
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度	名張市百々生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	3	その他の生活排水処理
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	225501
一般会計	(中事業名)	
款 民生費	百々生活排水処理施設管理費	
項 同和対策費	(小事業名)	
目 生活排水処理施設管理費	百々生活排水処理施設管理費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要
処理施設の維持管理

めざす効果(事業目的)
対象地域の適切な排水処理

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	光熱水費 522千円 修繕料 145千円 電話料 30千円 手数料 618千円 保険料 1千円 委託料 1,631千円	消耗品費 4千円 光熱水費 570千円 修繕料 600千円 電話料 40千円 手数料 641千円 保険料 1千円 委託料 1,878千円	補助金・交付金		
			その他 ( )		
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
			消耗品費 4千円 光熱水費 570千円 修繕料 600千円 電話料 40千円 手数料 641千円 保険料 1千円 委託料 1,878千円	消耗品費 4千円 光熱水費 570千円 修繕料 600千円 電話料 40千円 手数料 641千円 保険料 1千円 委託料 1,878千円	消耗品費 4千円 光熱水費 570千円 修繕料 600千円 電話料 40千円 手数料 641千円 保険料 1千円 委託料 1,878千円
<b>事業費 (千円)</b>	<b>2,947</b>	<b>3,734</b>	<b>3,734</b>	<b>3,734</b>	<b>3,734</b>
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他(使用料)	1,002	1,001	1,001	1,001
一般財源	1,945	2,733	2,733	2,733	2,733
人工 数	職員(人)	0.12	0.12	0.12	0.12
	臨時職員等(人)				
<b>人件費 (千円)</b>	<b>876</b>	<b>876</b>	<b>876</b>	<b>876</b>	<b>876</b>
<b>総費用 + (千円)</b>	<b>3,823</b>	<b>4,610</b>	<b>4,610</b>	<b>4,610</b>	<b>4,610</b>

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成21年度の( )内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。  
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	%	-	-	-	-	95.0
	実績		91.5	92.6			
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
特になし	特になし

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)( 理由 (2)へ)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 施設の現状維持のための維持管理のみ。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5027
-----------	-----------	------

事務事業名		河川維持費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道維持室	井上 康秀	63-7102
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	3	その他の生活排水処理
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	400503
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	河川維持費	
項 河川費	(小事業名)	
目 河川維持費	河川維持費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要
里地区排水機場維持管理 八幡工業団地内排水管維持管理

めざす効果(事業目的)
施設の正常な機能の維持

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	光熱水費 170千円 電話料 31千円	燃料費 10千円 光熱水費 210千円 修繕料 400千円 電話料 40千円 委託料 50千円	補助金・交付金	その他 ( )	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
			燃料費 10千円 光熱水費 210千円 修繕料 400千円 電話料 40千円 委託料 50千円	燃料費 10千円 光熱水費 210千円 修繕料 400千円 電話料 40千円 委託料 50千円	燃料費 10千円 光熱水費 210千円 修繕料 400千円 電話料 40千円 委託料 50千円
<b>事業費 (千円)</b>	<b>201</b>	<b>710</b>	<b>710</b>	<b>710</b>	<b>710</b>
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他( )				
一般財源	201	710	710	710	710
人工数	職員(人)	0.02	0.02	0.02	0.02
	臨時職員等(人)				
<b>人件費 (千円)</b>	<b>146</b>	<b>146</b>	<b>146</b>	<b>146</b>	<b>146</b>
<b>総費用 + (千円)</b>	<b>347</b>	<b>856</b>	<b>856</b>	<b>856</b>	<b>856</b>

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成21年度の( )内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。  
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標	実績						
目標	実績						
目標	実績						
考察及び今後の対応方針							

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
特になし	特になし

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2)現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)( 理由 (2)へ)	特記事項
(1)短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2)継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 管路の現状維持のための維持管理のみ。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5033
-----------	-----------	------

事務事業名	小波田川流域排水管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
上下水道部	下水道維持室	井上 康秀	63-7102
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	3	その他の生活排水処理
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	411501
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	小波田川流域排水管理費	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 流域排水管理費	小波田川流域排水管理費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
管路の維持管理	

めざす効果(事業目的)
対象区域の適切な排水の確保

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	手数料 184千円 保険料 5千円	消耗品費 5千円 修繕料 300千円 手数料 185千円 保険料 5千円	補助金・交付金	その他 ( )	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
	消耗品費 5千円 修繕料 300千円 手数料 185千円 保険料 5千円	消耗品費 5千円 修繕料 300千円 手数料 185千円 保険料 5千円	消耗品費 5千円 修繕料 300千円 手数料 185千円 保険料 5千円	消耗品費 5千円 修繕料 300千円 手数料 185千円 保険料 5千円	消耗品費 5千円 修繕料 300千円 手数料 185千円 保険料 5千円
<b>事業費 (千円)</b>	<b>189</b>	<b>495</b>	<b>495</b>	<b>495</b>	<b>495</b>
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他(基金利 一般財源)	189	495	495	495
人工数	職員(人)	0.02	0.02	0.02	0.02
	臨時職員等(人)				
<b>人件費 (千円)</b>	<b>146</b>	<b>146</b>	<b>146</b>	<b>146</b>	<b>146</b>
<b>総費用 + (千円)</b>	<b>335</b>	<b>641</b>	<b>641</b>	<b>641</b>	<b>641</b>

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成21年度の( )内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。  
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標							
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
特になし	特になし

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)( 理由 (2)へ)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 管路の現状維持のための維持管理のみ。	